



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・工事で出る廃材については地域の廃棄物処理場に適切な処理を依頼している。 ・アスベスト等有害化学物質が含まれていないか事前調査を実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・二酸化炭素排出量把握システム「炭削くん」を活用して自社のエネルギー使用量を把握している。 ・事務所に太陽光パネルを設置している。							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・二酸化炭素排出量把握システム「炭削くん」を活用して自社の温室効果ガス排出量を把握している。 ・県内唯一の「エアムーブ工法」を取り入れた家造りを行っている。これにより、動力を使わずとも、夏は涼しく冬は暖かい環境を保つことができる。			2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・地盤改良時にコンクリートではなく天然砕石を利用することにより、有害化学物質の発生を抑え、環境への悪影響が出ないよう配慮している。 ・施工完了後に側溝を清掃し、廃水が流れ出ないよう気を付けている。 ・花壇にマットを敷き、不要な砂を産業廃棄物として適切に処理している。							6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・段ボールの再利用やペーパーレス化を徹底している。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・雨水浸透枳・貯水枀の積極的な提案により、地下水涵養による水害軽減に間接的に貢献している。 ・節水型トイレの導入を積極的に提案している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5		14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入、再生紙の購入を積極的に実施している。												9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・緑化への取組を推進しており、顧客にシンボルツリーの設置を提案している。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・県内で唯一「エアムーブ工法」による家造りを行っている。地熱エネルギーの性質を活かすことで、動力を使わずとも、冬は暖かく夏は涼しい状態を保つことを実現している。 ・【予定】2025年6月までに自社電力を太陽光パネルにて補う。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・マイバッグ利用を推進することによりプラスチックゴミの削減に取り組んでいる。														12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・【予定】2025年6月までに二酸化炭素排出量を把握した上で、太陽光にて自社電力を賄う。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2

